

Title	猪子先生喜壽 賀會記事
Author(s)	吉田, 久士; 村上, 治朗
Citation	日本外科宝函 (1937), 14(1): 273-286
Issue Date	1937-01-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/204782">http://hdl.handle.net/2433/204782</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

# 猪子先生喜壽祝賀會記事

助手 吉 田 久 上 手 記  
助手 村 上 治 朗

猪子先生ハ本年77歳ヲ迎ヘラレタノデ、門下生一同ハ先生ノ喜壽祝賀ノ爲、昭和11年11月23日(新嘗祭)正午、京都ホテル<sup>㊦</sup>ニ參集シテ、先生ヲ午餐ニ招待申シ上ゲ、ユルユルト先生カラ御話ヲ承ハルコトガ出来テ無上ノ悦ビニ浴スルコトガ出来マシタ。ソレデ此ノ稀ナル祝賀會ノ有様ヲ永ク後世ニ書キ貽シテ置キタイト思ヒマス。

## 休憩室ノ光景

午後零時半、猪子先生ハ鳥瀉教授ニ案内サレナガラ、ニコヤカニエレヴェーター<sup>㊦</sup>カラ現ハレテ、會場デアルホテル<sup>㊦</sup>ノ3階ニ歩ミヲ運バレマシタ。待チ設ケテキタ教室員デ組織サレテキル寫眞班ハ一齊ニカメラ<sup>㊦</sup>ノ射撃ヲ浴ビセカケマシタ。先生ハ機嫌ヨク休憩室ノ方ヘ靜カニ歩マレ、雲集セル門下生ニ圍マレナガラ愉快ゲニ次ギカラ次ギト挨拶ヲ交サレテ行キマス。

望月教授「今日ハオ天気ガ良クテ誠ニ結構デ御座イマス」

先生「ハア、イ、天氣ニナツタネー」

革島彦一博士「御無沙汰申シテキマス。今日ハ大變有難ウ御座イマス」

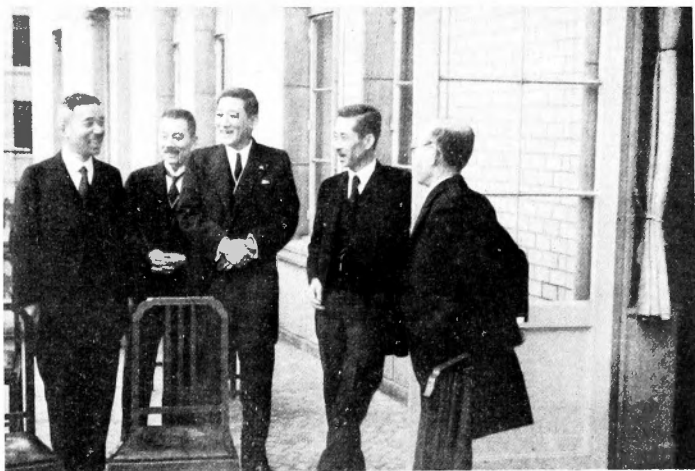
先生「イヤ……………」

山内博士、宇山博士、辻博士……………順次挨拶ヲ申シ上ゲル。

先生ハ更ニヴェランダ<sup>㊦</sup>ノ方ヘ歩ミ寄ラル。「ヴェランダ」ニ出ラレテ、折カラ雲ヲ破ツテ現ハレタ、マダ小春日和ノ様ナ溫イ日光ヲ全身ニ浴ビラレナガラ、起立サレタ儘デ、先生ヲ取り圍ム誰彼ト談話ヲ交サレル。

鈴木平十郎博士「先生。今日ハオ目出度ウ御座イマス」

先生「イヤ……………、君モ大分頭ガ白クナツタネー、ハツ ハツ ハツ……………」



鈴木平十郎博士 「先生ハ6, 7年前ト少シモオ變リガナイヤウデスネ、ヨクオ太リニナツテ御健康デ……………」

先生 「私ハモウ之以上……………」

伊藤教授 (鈴木(平)博士ニ向ツテ) 「君ハ頭ノ艶ガイ、ワ」

鈴木平十郎博士 「いや、ハツ ハツ ハツ」

伊藤教授 「開業シテ活動スル人ハ頭ノ髪ノ黒イ方ガイ、ダラウネ……………」

先生 「ソレヤ白イ方ガイ、」 (一同笑聲)

鈴木平十郎博士 「荒木(寅三郎)先生ニハ毎月一度ヅ、東京ノ會デオ會ヒシマスガ、仲々ノオ元氣デス」

先生 「ハアソウカ。今日ハ珍ラシイ人多イネ」

鈴木平十郎博士 「中西君ノ顔ナンカ見ルト、先生カラヨクオ小言ヲ頂イタコトヲ想ヒ出スネ」

先生 (中西氏ノ方ヲ向カレテ)「ヤア、アンタモ太ツタネ」



先生ト山内、中西、鈴木(平)諸博士トノ間ニ食事論ガ話題ノ中心トナツタ。

中西貞次郎氏 「先生ハ肉食黨デスカ、菜食黨デスカ」

先生 「肉ハ甘イ、肉ハ甘イ、上等ノ肉ガ食ヒタイ、齡フトルトモウ食ヘヌヤウニナル」

山内半作博士 「餘リ食ベヌ方ガヨイラシイデス」

先生 「食ヘナクナル、食ベルト腹ガ張ツテ苦シクナル」

山内半作博士 「御食事ハドノ位オ召ガリニナリマスカ」

先生 「朝ハ牛乳ダケ。晝ハ(兩手デ大キサヲ示サレナガラ)コンナ小サナ茶碗ニ御飯ヲホンノ一寸許リ。食ベタイケド食ヘナイ」

中西貞次郎氏 「晩ハ紅茶位デスカ」

先生 「いや、紅茶モヤラナイ。一寸シタ(指デ大キサノ形ヲ示サレテ)菓子ヲ二ツ三ツ。ソノ代リ(少シシカ食ベナイカラ)、之カラハ寒サガ随分徹ヘル」

山内半作博士 「オ腹ガ何時モ空イテキマスカ」

先生 「いや、空カシタ方ガイ、」

鈴木平十郎博士（同僚ヲ見廻ハシナガラ）「俺達ハ食ヒ過ギルンダネ」

先生「モウ一寸食ヒタイガ、腹ノ調子ガ張ツテクルカラ食ヘナイ。君等ダツテソウダラウ西洋ヘ行ツタラソソナニ食ヘナイダラウ」

中西貞次郎氏「エライ御少食デスネ」（同僚ヲ顧ミナガラ）「二食ノ人ハ聞クガ一食ノ人ハ聞カヌネ」

山内半作博士「朝ト晩ト、二食ニスレバ良イデスネ、食ヒ過ギルト胃ガ張ツテクルカラ Matigkeitsgefühl ガ起ツテクル」

（其處ヘ磯部教授ガヤツテ來ラレタ）

先生「磯部君、和辻サンハ君ガヤツタノダネ」

磯部教授「ハア、Infiltration ガ Lig. hepatoduodenale ノ方ニ進ンデキマシタ。Stenoseガ主デ、之ヲ除クノガ目的デシタノデ、手術ノ結果ハ Stenose ノ方ハ工合ヨク nachlassen シテキマス。マア後ハドノ位保チマスカシラ……………」

先生「副島君モ Rektumkrebs デ手術ヲヤツタソウダガ……………」

某氏「横田君ト望月君二人デヤツタソウデスガ、後ハ弱ツテキルトイフ噂デスガ……………」  
（ソコデ過日、新聞ニ掲載サレタ阪大ノ肺臓癌手術ノ話ガ出テ）

先生「大阪デ Lungenkrebs ノ手術ヲヤツタヨウダネ」

磯部教授「以前ハ Lungenkrebs ヲ Tuberkulose ニシテキタモノラシイデス」

先生「診断ガ確カニツクヤウニナツタンダネ」

（先生屋内ニ入ラレテ横田教授ノ近クヘ歩ミ寄ラル。此ノ間ニ「ボーイ」ガ露臺ノ東側ニ椅子ヲ整列シテ記念撮影ノ準備ヲ整ヘル）

先生（横田教授ニ向ツテ）「副島君ハ君ノ所デ手術ヲシタソウダネ」

横田教授「望月君ガ主トシテヤラレタノデ……………」

（望月教授其處ニ現ハレテ）

先生（望月教授ニ向ツテ）「君カ？……………」

望月教授「今年1月中旬…………… 初メ sakrale Methode デヤツテミルト大變上ニ在ツテ仲々出マセンノデ、横田君ニ手傳ツテ貰ツテ Quénu ヲヤリマシタ」

先生「悪イノカネ」（門下生ヲ思ハレル眞情ヲ顔色ニ漂ハサレテ）

望月教授「イ、エ 大變元氣デ平素ト變ラナイデス、向フデハ普通ノヤウニヤツテ居ルヤウデス」

先生（安堵ノ面持ニテ）「ア、ソウカ」

以上ノ對話中ニ寫眞撮影ノ準備ガ整ヘラレ、門下生、孫門下生等一同整列、最後ニ猪子先生



ノ御着席ヲ願ツテ、外科X線室創立以來ノ技術者早川ガ技師ヲ承ツテ記念ノ撮影ヲ行ツタ(午後1時5分前)。

撮影終ルヤ、鳥潟教授ハ直チニ先生ニ向ツテ「先生ドウゾ。食卓ノ用意ガ出来テ居リマスカラ」ト會釋サレテ、宴會場ノ方ヘ御案内申シ上ゲタ。一同ハ先生ニ從テ食堂ヘト赴イタ。

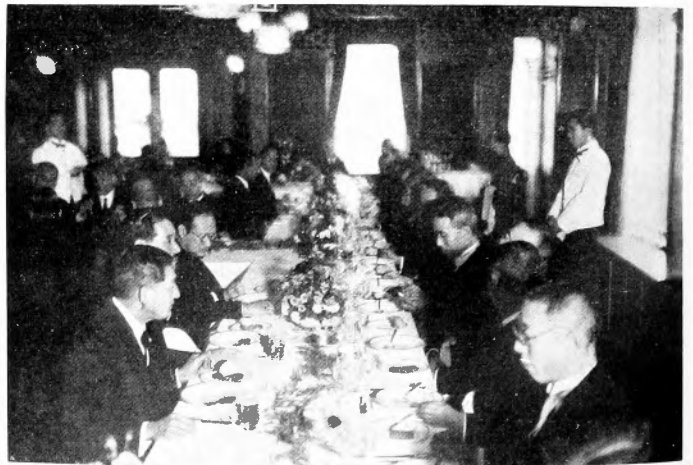
### 宴會場ノ光景

先生ガ中央デ其ノ附近ニハ遠來ノ古イ門下生ガ着席スルコトニナリ、午後1時5分、一同着席ヲ終ル。先生、サモ御満足ゲニ、「メニュー」ヲ一覽サレテカラ食事ニカ、ラル。「教室員デノミ組織サレテキル寫眞班」ガ盛ニ照明シナガラ活躍スル。「ナイフ」ノ音、「フォーク」ノ音、彼方此方デ盛ニ起ル談笑ノ聲、一堂ハ和氣霽々ノ氣分デ滿タサレタ。

「デザート、コース」ニ入ツテ、「シャンパン」ガ全部ニ注ギ終ラレタ報告ヲ「ボーイ」長カラ受取ツタ鳥潟教授ハ徐ラ起立シテ次ノ様ニ挨拶サレタ。

『今日ノ目的ハ儀式張ツタコトヲスルノデナク、先生モソレハ全く御嫌ヒナノデアリマスガ、唯其ノ主ナル目的ハ先生ガ七十七ノ高齢ヲ重ネラレテモ常非ニ御元氣デアリマスノデ、我々ガ先生ヲ中心ニ一緒ニオ話ヲ承ハルコトデアリマス。

儀式張ラナイト言ツテモ先刻カラ食事シナガラモ考ヘタコトデアリマシタガ、ドウモ杯ヲ舉ゲヌト御健康ヲ祝スル形ガ整ヒマセスカ



ラ少々儀式的ニナリマスガ、御免ヲ蒙ツテヤツパリ杯ヲ舉ゲテ先生ノ御健康ヲ祝サセテ頂キマス。』一同起立乾杯。

乾杯ノ事終ツテ一同腰ヲ下ロスヤ少憩ニシテ烏瀉教授ハ再ビ起立シ、力ノ籠ツタ聲デ次ノ如ク述ベラレタ。

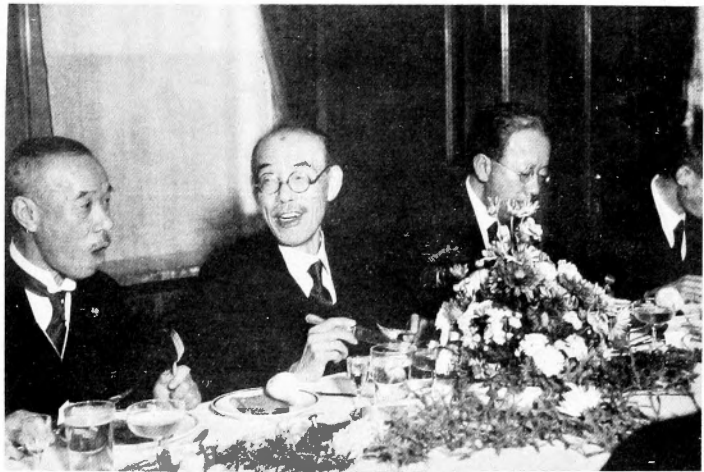
『モウ一ツ。コレハ私一人ノ考デアリマスガ、私ハ先年來、先生ガ益々御健康デアラレルコトヲ願フ以外ニ先生ニ苦痛ヲ與ヘル様ナ如何ナル疾患モ今後決シテ先生ヲ冒スコトノ無イ様ニト祈念シテ居リマス。祈ルトイフコトニハ如何程ノ實用的効果がアルモノデアルカ私ハ存ジマセンガ、併シ私ハ祈ラザルヲ得マセン。ドウゾ諸君御賛同ノ上、杯ヲ下ニ置キ誠心誠意ヲ以テ御祈リ下サイ。』

言終ルヤ門下生一同ハ再ビ一齊ニ起立シ、肅然トシテ衷心カラ默禱ヲ捧ゲタ。

一同着席ノ雜音ガ靜マルヤ猪子先生ハ起立サレテ次ノ如ク述ベラレタ。

『本日ハドウモ有難ウ』  
(一同拍手)

ソレカラ菓子、コーヒーガ運バレ、彼方此方デ喫煙モ始マリ、談笑ノ聲ガマタ



一シキリ賑カニナル。猪子先生ハ近來喫煙ヲ御廢シニナツテキルコトナドモ話サレル。

此時烏瀉教授ハマタ起立シテ次ノ様ニ述ベラレタ。

『アチラノ室デモ十分ニ歡談シテ頂キ度イノデアリマスガ、食卓ヲ離レルト、彼方此方ト gruppiieren シテ分散シテシマヒマスカラ、暫クハ此ノ儘ノ席デ一人一人ノ懷舊談ナドラシテ頂キタイノデアリマス』

室谷君ハ古イ先輩ノ一人ダカラ室谷君カラ始メ給ヘト呼ブ聲アリ。

室谷脩太郎氏 (猪子先生ノ右隣ニ着席シテ居タガ起立)

『私ハ明治 39 年大學ニ在職シタモノデス。今日カ、ル結構ナオ祝ヒノアルコトヲ知ラナカツタノデスガ、偶々御通知ヲ頂キマシテ飛ビ立ツ思ヒデ伺ツタ次第デアリマス。先生ノ溫容ニ接シテ誠ニ感慨無量デアルト共ニ、コレヲ機會ニ皆様ニオ目ニカ、リ得テ大變光榮ニ存ジマス。

扨テ、先生ニ關シテハ、澤山覺エテキルコトガアルノデアリマスガ、先生ハ第一、腹ノ中ノ病氣ハ腹ノ中ヲ見ナケレバ判ラナイ。probe Laparotomie ヲ澤山ヤツテ腹ノ中ヲヨク調べナケレバ判ラスト申サレマシタ。

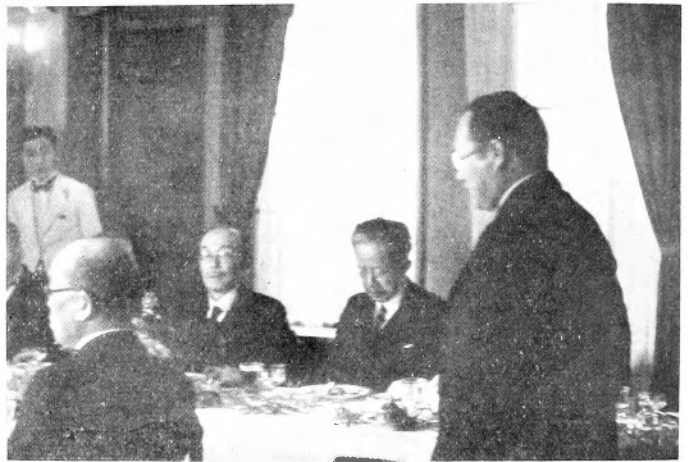
私ハ 3 ケ月程先生ノ教室ニ於テ御世話ニナツテ澤山ノ Laparotomie ヲヤラセテ貰ヒマシタガ過般ノ九大ノ婦人科ノヤウナ事件ハ夢ニモ思ヒ寄りマセンデシタ。

私が probe Laparotomie ヲヤツタ1例 = 27歳ノ女デ腹痛ヲ訴ヘテ來タノガアリマス。先生ガ腹ヲ開ケテ來イト申サレタノデ、腹ヲ開ケタガ何モ無イ。Magen, Darm = ハ何モ無イ。唯 Pankreas ノ一部ガ derb デアツタ。ソレデ先生ガ其處ヲ切レト言ハレタノデ、其處ヲ切ツタノデアリマス。ソレヲ Über Fremdkörper (Ascariseier) des Pankreas トシテ歐文デ書キ上ゲタトコロ之ハ立派ナモノダト言ハレ、ソレヲ ハイデルベルヒ ノウィルムス ノ所ヘ持ツテ行ツテ見セタトコロ、大變褒メラレタノデアリマス。

私ハ今年66歳、先生ハ77歳デ益々御目出度イノデアリマス。私が77ニナツタ時、先生ハ88、私ハ此ノ次ニハ米壽ノオ祝ヲ申シ上ゲ度イト祈ツテキマス。

吉益雄太郎氏(起立シテ)

「私ハ年寄りトシテ申サセテ頂キマス。私が19歳ノ時 = (明治17年ノ事デアリマスガ) 入學試験ヲ受ケル時ニ、ソノ頃ハ京都ノ府立醫學校ハ年ニ2度試験ガアツタノデアリマスガ、私ハ田舎ヲ出タ許リデ、入學試験ノ期日ガ判ラナイ。其時分猪子先生ハ新町ノ、今



デモアリマスガ、三井ノ本店カ何カノ前ニ居ラレ、人ヲ介セズ、行ケバ判ルト思ツテ單獨デ訪ネテ行ツタノデアリマス。行ツテミルト先生ハ丁度夕方ダツタノデ風呂ニ入ツテ居ラレマシタ。取次ノ者が案内シテ始メテ、オ宅デオ目ニカ、ツテオ伺ヒスルト本年ノ10月ニ確カー入學試験ガアルト申サレタノデ試験ヲ受ケマシタ。

其後、森有禮ガ文部大臣ノ時ニ學校令ガ變ツタノデ學生ガゴタゴタシテ、私が代表シテ先生ノ所ヘ談判ニ行ツタノデス。是レガ2度目ノ面會デアリマス。明治22年ニ卒業シテ23年ニ府立療病院ニ勤務スル爲ニ先生ニ直接談判ニ參リマシタ。私ハ直接談判ニ行ツテ何時モ厚顔シクヤツタモノデス。

外科ノ醫局ニ入レテヤルトイフコトデ、初メテ外科ノ手術場ニ入ツタ時ニ日ノ上ニ癰ノアル男ガ居ツタノデス。金澤ノ醫學校ヲ出タ若イ醫者デ、ソレガ現在ノアソコニ居ル松山君デ、今ハ癰ガトレテアノ様ニ綺麗ニナツテキマス。(笑聲)

明治24年ニ濃尾ノ大震災ガアツテ、先生ニ從イテ其處ヘ行キ、翌年ノ3月ニ歸ツテ參リマシタ。25年ニ先生ハ洋行サレ山崎君ガ留守番ヲシテキマシタ。洋行カラオ歸リニナツテカラ尙、半年御指導ヲ受ケテ岐阜ニ開業シ今日ニ到ツテキマス。

坂部秀雄氏（起立）

「島瀉先生が難シイコトハ言ハヌヤウニトノ事デ、ドウシトラ面白イ事が話セルカト考ヘテキマシタガ、何も頭ニ浮バヌノデアリマス。

猪子先生ハ、私ノ學生ノ時、最モ親シイ、最モ慕ハシイ、好キナ先生デアリマシタ。

ソノ當時、先生ノ所ニハ車夫ガ居テ、先生ハ立派ナ車ニ乗ラレテ葉巻ヲ燻ラセナガラ颯爽ト通ハレルノガ、ソノ當時ノ學生ノ憧憬ノ的デアツタノデアリマシタ。

先生ハ貴公子然トシテ頭ヲ真中カラ分ケテ居ラレタガ、今オ見受ケスルト誠ニ今昔ノ感ニ絶エヌ次第デアリマス。

私共ハ先生ニドンナニ叱ラレテモ、先生ノ側ニ居リタクテ仕様ガナカツタノデアリマス。暫ク田舎ニ引込ンデカラ、何トカシテ先生ノ御指導ニ預リタイトイフ念願デー杯ダツタノデ先生ニ之ヲ申シ上ゲルト暫クスルト大學ガ出來ルカラヤツテ來イト言ハレ、ソナハ譯デ大學ニ來テ先生ノ所デ勉強サセテ貰ツタノデアリマス。

私ハ何一ツ先生ニ追従スルコトガ出來マセンデシタガ、唯一ツ、先生ガ御令室ヲ亡クサレマシタノデ、私モ丁度家内ヲ亡クシテソノ御氣持ガ判ル、ソレニ對シテ同情ガ出來タトイフコトダケ追従ガ出來タ譯デアリマス。

又此ノ度、大阪ニ教育塔ガ出來マシタガ、之ハ小學校ノ先生達ガ自ラヲ忘レテ生徒ヲ護ラレタ師魂ヲ發揚シタモノデアリマス。私ハ猪子先生コソ生キタ教育塔デアルト信ズルノデアリマス。先生アルガ故ニ師魂ガ生マル。先生ノ如キ含蓄アレバ、確カニ物質的ニ成功ガ確實デアリマスガ、先生ハ學生ヲ可愛ガリ、弟子ヲ可愛ガラレテ、物質的ニ方面ニ向ハレズ、教育ヲ理想トセラル、方面ニ向ハレマシタ。今日茲ニ集マラレタ方々ハ、私ヲ除イテ何レモ外科ノ一方ノ旗頭デアリマス。此ノ中ニハ先生ノ血ガ流レテキルノデアツテ、「ソノ外科ヲヤロウ」トイフ考ヲ起サセタノガ、勿論伊藤隼三先生ノ力モアリマスガ、猪子先生ノ教育ノ賜デ、ソノ結果一方ノ旗頭トナリ得タモノデアリマス。

先生ガ外科ヲ指導セラレル際ニハ公平無私デ、ソノ門下生達ガ何レモ斯界ニ重キヲナスニ至ツタノハ總テ先生ノ人格ノ賜ト考ヘラレマス。

私が考ヘタノハ、人ハ必ズ自分ノ立場ヲ掘レトイフコトデアリマス。ソレデ私モ掘ツタノデアリマスガ、出ルノハ泥水許リデアリマシタガ、先生ハ掘ラレ、バ必ズ清水ガ出ルノデアリマス。先生ハ得ル所極メテ少ク、施コス所ハ極メテ大ナルオ方デアリマス。今日喜壽ヲ迎ヘラレテ「陰徳陽光」アリデアリマスガ、我々ハ先生ニ酬ユル所ガナケレバナラヌノデアリマス。

先生ガ御健康デアラレ、弟子、孫弟子マデモガ茲ニ集リ得テ先生ノ御健康ヲ祈ツタノハ大變嬉シク存ジマス。ドウゾ皆様、心カラ先生ニ御健康デアラレルヤウニオ祈リ申シマス。

澤村榮美博士（起立）

「私ハ熊本ノ高等學校デ、ソノ時分京都ノ大學ニ行ク人ハ少ナカツタノデアリマス。大學ニ



入ルタメ京都大學ノ一覽表ヲ送ツテ貰ヒ、ソノ中ノ教授ヲ調べタトコロ、猪子先生トイフオ偉イ先生ガオ在デニナルコトヲ知リマシタ。ソウシテキル中ニ、當時ノ大學書記官デアツタ石川先生ガ來ラレテイロイロ御話ヲ承リ、ソノ事實デアアルコトヲ話サレマシタノデ、全く先生ノ人格ヲ慕ツテ京都大學ニ入ツタ譯デアリマス。

緒方祐將博士（起立）

此ノ澤山ノ中デ、外科ノ方許リデアラウト思ハレマスガ、私ハ異端者デ、外科ヲ4年許リヤツテ大阪デ婦人科ヲ開業シテキルノデアリマス。

私ガ大正元年ニ卒業シテ猪子先生ノ第5病舎ニ助手トシテ入り、鈴木(平十郎)先生ガ Leiterデアリマシタ。1度3ヶ月目カ4ヶ月目ノ、得意デ何デモ出來ルト考ヘルヤウナ時代ニ、丸太橋工事ヲシテキタ大工ガ嵌頓ヘルニアデ夜中ニヤツテ來マシタノデ、河合六郎君ニ相談シ看護婦ヲ起シテ手術ヲヤルコトニナリマシタ。嵌頓ヘルニアノ爲ニ Laparotomie ヲヤリ、長イコトカ、ツテヤツト Darmresektion ヲ行ツタノデアリマス。自分ハ得意ノ積リデ翌日先生ニ切除標本ヲ御見センタトコロ、先生ハ「ア、ア、」ト二語言ハレ「モウシ先輩ニ聞カネバ不可ンデナア、コノ Darm ハ…… Binde ダケトツテヤレバ癒ル、モウト自重セネバ不可ンデナア」ト言ハレテ叱ラレマシタ。

私ハ今日 Gynaekolog トナツテ、モウト自重セネバ不可ント言ハレタコトガ今日大變處世上ノ教訓トナツテキマス。

鈴木平十郎博士（起立）

「私ハ現在開業シテキルノデスガ、先生ノオ叱リガアツタタメニ外科醫トシテ立ツテ行ク上ニドレ位役立ツタカラ思フト實ニ感謝ニ絶エヌ次第デアリマス(感激ニ胸塞ガリ、聲暫ク出デズ)。

私ガ外科教室ニ入ツタ時ハ鳥瀉教授ハ、尙助教授トシテ居ラレマシタ。先生ハ常ニ色々ノ Untersuchung ヤ Behandlung ニ當ツテハ、Lehrbuch ヤ Literatur ニノミ頼ツテハ不可ン、自分デ創案セヨト言ハレマシタ。當時上田寛一博士ガ居ツタノデアリマス。Rippenresektion ノ代リニ、小サナ Schnittwunde カラ Rippe ヲ引キ抜クコトヲ考案シテソレヲヤツテミタガドウシテモ出來ナカツタノデアリマス。

又タ「何トカシテ Fistel ヲ schliessen スル方法ヲ考ヘヨ」ト先生カラ言ハレタコトガアリマス。之ハ到頭物ニナリマセンデシタ。先生ハ常ニ「何カ therapeutisch ニ新生面ヲ拓ケ」ト言フテ居ラレマシタ。之ハ今日デモ肝銘措ク能ハザルモノデアリマス。先生ニ對シテ感謝ニ絶エヌ次第デアリマス。

山内半作博士（起立）

「唯今鈴木君カラオ話ガアツタヤウニ「何カ新生面ヲ拓ケ」トイフコトデ想ヒ出シマシタ。

私ガ外科ニ入ツタ時ハ副島君、浅井君ノ2人シカ居ナカツタノデス。其處ヘ私共澤山入ツテ行ツタノデ大變歡迎サレマシタ。其頃ハ猪子先生ノ御健康ノ勝レナカツタ時代デ、長イ間ニ1

度モ先生が自ラ Operation ランイ Operation フサレタコトヲ見タコトが無カツタノデアリマス。皆私等ニ委セテヤラセテ下サツタノデ、私達モ委サレテキルカラヨク本ヲ讀ンデ、ミンナヤツタモノデス。唯、學生ニ講義ヲサレル時ニ、一寸見セル程度ノ手術ヲナサツタコトハアリマス。ソレデ吾々ハ1年位デ何ンデモヤレルヤウニナリマシタ。

私等ノ翌々年、中西君ノ時代ダツタと思フガ、皆ガ餘リ失敗ヲヤルノデ、先生ハ『モウ手術ヲヤラサス』ト言ヒ出サレマシタ。私ハ當時自分ノ勉強ダケヲヤツテキタノデスガ、ソノタメ私ニ『先生ノ所ヘ行ツテ謝罪シテ呉レ』ト頼マレテ謝マリニ行ツタノデス。其時先生ガ『ア、セコウセナド、餘リ言ハヌ方針デアルコトハミンナモヨク知ツテキルダラウ。自分ガ調べテ來テコウショウト思ツテヤツテモ失敗スルコトガアル。併シ失敗ノ原因ヲ究明シテ改メレバソレデイ、ノダ。大學ハ私ガ責任ヲ持ツ、然シ今度ノ卒業生ハ勉強セズ、無茶苦茶デ失敗許リスルカライケナイ。マア今度ハモウ1年ミンナニ手術ヲヤラスカラ、ヨク調査シテアルヤウニ』トイフコトニナツタノデアリマス。

『出來ルダケ調査ヲシテ手術ヲヤレ』トイフ後進ノ失敗ニ就テノ先生ノ度量ノ大キイコトハ深刻肝ニ銘ジ、生キタ教訓トシテ今日マデドウニカコウニカヤツテ來タ次第デアリマス。先刻モ某氏が申サレタヤウニ、『生キタ教育塔コソ先生デアル』ト申スノハ誠ニ至言デアルト存ジマス」

爲森彌三郎博士（起立）

『當時ノ山内助教授ガ先刻申サレタ、無茶苦茶ナ失敗ヲシタソノ中西君ト、私ハ同ジ「クラス」デスガ、ソノ無茶苦茶ナ失敗ノ1ツヲ申シマスト、中西君ト2人デ夏留守番ヲシテキテ、ヨク「ヘルニア」ノ手術ヲヤツタノデアリマス。『ヘルニア』ノ手術ヲ澤山ヤリマシタガ、丁度手術ヲヤツテカラ2,3日經ツト fiebern シテ必ズ infizieren シ primär デ瘻ツタ例ガナイノデアリマス。2人デ心配シテ一生懸命ニ本ヲ讀ンデ Bassini デヤツテミテモ Kocher デヤツテミテモ、ドチラデヤツテミテモヤツパリ infizieren スル。ソレデトウトウ先生ニ申シ上ゲルト『君達ハ2ツノ方法ニノミ、ツキ過ギルノガ不可ナイノダ。Bassini デヤツテ残ツタ Sack フ Paquelin デ焼イテ schliessen シ給ヘ』ト先生ガ言ハレタノデアリマス。2人トモ無器用ニソレヲヤツテミタトコロ大變好イ結果ヲ得テ感染ガ起ラズ、中西君モ私モ大變面目ヲ施コンタノデアリマス。先刻山内助教授ノオ話ニヨルト、其頃先生ハ大變御不興ダツタトノ事デスガ、私ドモハ何分若イコトデスカラソノ點マデハ氣ガツカズニ居マシタノデ大變濟マスト思ツテキマス」

磯部教授（起立）

『外科ヘ入ツテ初メテノ中ハ、何ニモ分ラヌカラ、先生ヤ先輩ニ尋ネテスルガ、少シ慣レルト自分勝手ニヤリタガツテ先生ガコウシロト言ハレテモ、言ハレタ方法ト違ツタ方法デアルコトガアルモノデス。其頃ハ自分モヨクソナナコトヲヤリマシタ。ソレデモ先生ハ何故ソナナコトヲシタカトハ決シテ咎メラレマセンデシタ。

丁度自分が長崎ヘ行ツテカラ助手達ニ自分ハコウシロト命ジテモ、仲々ソウ言フ通りニヤツ

テクレナイノデス。先生ガカゝル場合ニ少シモ怒ラレナカツタノデ、自分モ辛抱ヲシマシタ。

先生ハ若イ者ニ各自ノ考ヲ出サセル爲ニソウイフ風ニヤツテオラレタモノト思ハレ、『子ヲ持ツテ初メテ知ル親ノ恩』ヲ、長崎ヘ行ツテカラ初メテ知り、自分ガ當時勝手ナコトヲシタコトヲ懺悔シ、更メテオ詫ビスル次第デアリマス。

猪子先生（座席ノマヽ）

『辛抱トイフコトデ私ハ大變考ヘタコトガアル。私ガ大學ニ居タ頃ニハ Schultze ガ居ツタ。Schultze ハプロシヤノ軍醫デ非常ナ秀才、ソノタメ選バレテ英國ノ Lister ノ許ニ派遣サレ、防腐法ヲ始メテ（明治4年）獨逸ニ輸入シタ人デ、當時獨逸ハビスマルク政府デ、日本ヲ手馴ツケタイトイフ心ヲ有ツテキタメ、日本カラ醫者ヲ招聘シタ際ニ Schultze ヲ派遣シテキタ。Schultze ハ aseptisch ノ消毒法ヲ日本ニ輸入シ、防腐法ハ獨逸ト同ジ位ノ年代ニ日本ニ輸入サレタワケデ大變早カツタ譯デアル。

Schultze ハ非常ナ學者デ、理論モ整然トシ、大學ノ講義ハ極メテ廣範圍デ、時ニハ動物學、植物學ニ迄モ及ンデ仲々興味ガアツタ。

當時 Baelz ガ内科學ヲ講ジテ居ツタガ、内科學ハ今日程進歩シテ居ラズ、曖昧ナコトガ多クツタ。之ニ反シ外科ハ大變面白イト思ツテ自分ハ外科ヲ志シタ。Schultze ノ講義ハ非常ニ面白イガ、手術ヲ見ルト之ガウマクイカン。先生（Schultze）ハ實際的經驗ニハ乏シカツタト見ヘ、イザ手術トナルト、心デ思ツテモ手が自由ニナラス、自分獨リデ心ノ中デ狼狽ルノデ助手ヤ看護婦ガ叱リ飛バサレルト云フ有様デ、從ツテ手術ハ益々紛糾シテウマクイカン。ソレデ外科ノ理論ハ面白イガ手術ガコンナニ大變ナモノナラ、到底自分ニハ外科ハ出來ヌモノト、一時外科醫ヲ斷念シタ。

トコロガ、明治14年ニ Scriba ガ來テ、コノ先生ハ餘リ辯舌ハタヽスガ、手術ハ大變樂ニヤツテノケ、手術中ニ怒鳴ルコトモナク、少シモ周章テル様子ガナイ。コノ先生ノ手術ヲ見テ自分ハ再ビ外科ヲヤリ度クナツタ。

之ヲ見テ、手術ヲスル時ニハ決シテ狼狽テハナラス、怒ツテハナラス、手術中ノ冷靜ガ手術者ノ覺悟デナケレバナラスト深ク考ヘサセラレタ。手術中ニハヨク困難ナコトヤ、豫期セヌコトニ出會ハスガソノ時デモ決シテ周章テヽハイケナイ。假令心ノ中デ困惑シテモ、之ヲ色ニ現ハシタリ、動作ニ現ハシタリシテハイケナイ。教授ヤ指導者ガ周章テヽハ、古イ助手マデガ狼狽テシマヒ、手術ヲ混亂サスダケニナル。私ナドハ何ンモ üben セズニ京都ヘ來タノデ、古イ助手ノ方ガ遙カニ上手ダツタ。自分ハ此ノ覺悟ヲ守ツテ來タガ、外科醫ハ是非トモ之ヲ心掛ケテ守ルベキデアル』

鈴木平十郎博士（座席ノマヽ）

『開業醫トシテモ特ニ周章テルコトハ禁物デアル』

烏瀉教授（座席ノマヽ）

「allgemeine Narkose」ヲカケ過ギテ Atmung ガ止マツタコトガアツタデス。私ハ隣デ手術ヲシテキマシタガ、Tisch ニツイテキル者ガ大變狼狽タノデ、行ツテ見ルト、先生ガ來ラレテ無難作ニ Herzgegend ヲ 40 回程 klopfen サレルト Kranke ハ生キテキタデス。ア、イフ時ニハ決シテ、周章テ、ハナラストツクヅク思ヒマシタ」

磯部教授（座席ノマヽ）

「一番困ツタノハ、先生ガ Operationssaal ニ出テ來ラレタ時ハ良イガ、出テ來ラレズシテ、Magen ハドウダツタカ、Darm ハドウダツタカ、Pankreas ハドウダツタカ、Milz ハ……………トイフ風ニ訊ネラレル時ニハ一番困ツタ。自分が實際ニ見テオラスコトヲ、見タヤウニイフワケニモイカヌノデ……………」

中西貞次郎氏（起立）

「私ガドウモ先刻カラ槍玉ニアゲラレデ困ツテキルノデスガ、實際ハ私ノ「クラス」ハソシナニ不信用デハナカツタ。次ノ辻君ノ「クラス」ガ最モ酷カツタノダ。1人1人「クランケ」ヲ持タス譯ニハイカスト言ハレ、Oberarzt トイフモノヲ先生ガ作ラレタ。私モソレニナツテ3人程受持ツテ弱ツタ。廻診ノ時主治醫ガヤツテキナイト其尻ガ私ニ來ル、私ハ診テ居ラスノデドウ答ヘテヨイカ判ラスノデ困ツタノデス。

「丁度我々ノ時ニハ卒業生ガ13人一緒ニ教室ニ入ツタノデスガ、ソノ中デ某君ハ毎日本ズ叱ラレル、ソレデ何時モ辭表ヲ持ツテ歩イテ居タモノデス。先生ハヨク、「コンナ醫者ニカ、ツタラアント死ニマスゼ」ト患者ノ前デモ平氣デソレヲ言ハレルノデ Praktikant ハ全ク面目ガナカツタ。

先生ガ、患者ニ「モウイ、」ト言ハレルノデ、患者ハ「2度ト罹ラスカ」ト尋ネルト、先生ハ「イヤ一邊風邪ヲヒイタ人ハ2度ヒカストイフ法ガアルカネ」トヨク言ハレマシタ。私ハ開業シテモヨク之ヲ應用シテキマス。

鈴木(平十郎)君、星野君等ハ何時モ狡猾インダ。鈴木君ハ何時モウマク言フガ、實ニ狡猾クテネ、廻診ニハ、ソツト後カラ覗イテキテ自分ニ飛バシリノコナイヤウニヤル所ナド實ニウマインデネ……………」

鈴木平十郎博士（座席ノマヽ）

「イヤ、辻ト古屋野ノ狡猾サト言ヘバネ、實ニヒドインダ……………」

烏瀉教授（座席ノマヽ）

「辻君、材料ガアリソウダネ」

辻廣博士（起立）

「私モ立チ上リマシタガ、申シ上ゲレバ數限リアリマセン。最モ肝銘シタ2、3ヲ申シ上ゲマス。

入院患者ノ検査不十分デアツタ時ニ言ハレマシタ。『數多ク診ヤウト思ヘバ、頭數カラ言ヘバ大學病院ヨリモ開業ノ人ガ幾千トナク診レルカラネ……………』

又長生ノ方法ニ就テ、明治44年11月ニ卒業シテ、我々10人ガ教室ヘ入レテ貰ヒニ先生ノ所ヘ頼ミニ行キマシタ。其時、先生ハ『諸君ハ將來金持ニナツテ別荘ヲ建テヨウト思フカ』。誰モ答ヘルモノハアリマセンデシタ。『外科醫ハ實際金ニ恵マレスモノダ。金ヲ持ツト命ガ短イゾ』ト言ハレマシタ。

25年過ギテ今日、先生ト同ククラス「デ生キテ居ラレル人ハ、先生ト佐藤三吉博士位ノモノデアリマス。先生ハ先日オ目ニカハツタ時ニ又、『金ノ無イモノガ最モ長生キヲスルカラノー』ト申サレマシタ。本當ニソウト思ハレマス」

津田太郎氏（座席ノマヽ）

「僕達ノ時代ハヨク勉強シタ。磯部君、山内君、辻君……………皆勉強シタ。シナイノハ廣澤ト私トダケダツタ」

磯部教授（座席ノマヽ）

「イヤ、其頃ノ助教授ハ鳥潟君デ、一寸モ病舎ノ方ニ出テ來ナイデ勉強許リシテキルノデ、聞く人ガナイカラ自分デ勉強スルヨリ他ニ仕方ガナカツタ」

鳥潟教授『ソレデハ、マタアチラデユルユル御話ヲ承ルコトニ致シマセウカ』

（時ニ午後3時半）

猪子先生ハ席ヲ離レテ喫煙室ノ方ヘ歩ヲ運バレル。門下生ハ三々伍々ソロソロト其後ニ從フ。

先生ハ喫煙室ノ「ソファ」ニ、ユツタリト腰打チ掛ケラレ、門下生ハ交ル交ル其ノ左右ヤ其前ニ來テ先生ト相語ル。室ノ四方ノ壁ニ沿ウテハ、門下生ガ思ヒ思ヒニ腰掛ケタリ、立ツタリノ有様デ先生ヲ取り卷イテキル。外ノ天氣モ好イガ室内ノ溫柔ナ氣分ハソレニモ増シテ忘レ難イモノデアル。門下生等ハ互ニ「今日ノ會ハヨカツタネー」ト心カラノ聲デ話シ合ツテキル。

記録係ガ、參集門人一同ノ自署ノアル帖ヲ「ソファ」ニ腰掛ケラレテキル先生ノ前ヘ持參シテ先生ニモ御署名ヲ願ツタ。

午後4時半過ぎニ先生ガ歸途ニ就カレルノデー同ハ「ホテル」玄関ニ御見送りシタ。來ラレル時ハ鳥潟教授ノ先導デ爲森博士ト藤浪講師トガ從ツテヲツタガ、歸途ニハ先生1人ヲ自動車デ送ラセタ。一同ハ其ノ自動車ヲ靜カニ感謝ノ心デ遙カニ見送ツタ。

#### 參集者（ABC 順）

福 島 昌（京都市）	花 岡 鶴 五 郎（神戸市）	原 守 藏（大阪市）
橋 本 深 一（岸和田市）	波 多 腰 正 雄（奈良市）	林 喜 作（京都市）
平 尾 猛（神戸市）	平 岡 謙 次 郎（龜岡町）	保 々 輝 雄（堺市）
堀 内 千 仞（岐阜市）	池 上 四 郎（神戸市）	伊 藤 肇（名古屋市）

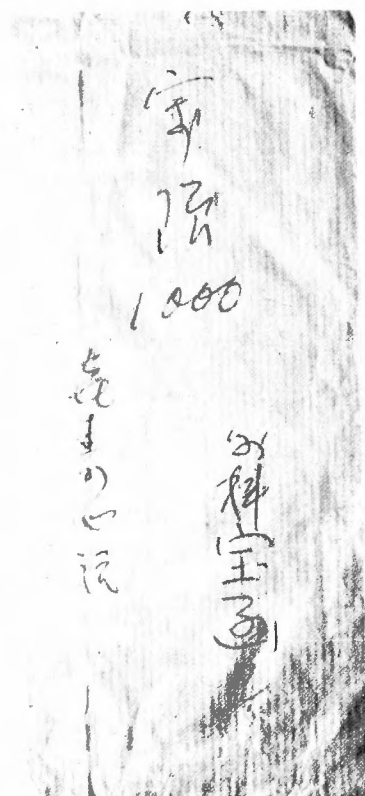
加藤 甚七 (大阪市)	河合 六郎 (西宮市)	革島 彦一 (京都市)
波田 元之丞 (名古屋市)	前田 和三郎 (東京市)	松山 爲雄 (京都市)
宮路 善久 (八日市町)	望月 成人 (京都市)	森 武美 (東京市)
室谷 脩太郎 (彦根町)	中村 正雄 (神戸市)	中西 貞次郎 (京都市)
緒方 祐將 (大阪市)	坂部 秀雄 (京都市)	澤村 榮美 (和歌山市)
曾根源 作 (京都市)	鈴木 平十郎 (東京市)	鈴木 正次 (京都市)
立花 角五郎 (千葉市)	爲森 彌三郎 (和歌山市)	津田 太郎 (神戸市)
辻 廣 (神戸市)	塚原 仲光 (大阪市)	宇山 俊三 (京都市)
山崎 直治 (倉敷市)	山内 半作 (大阪市)	横井 濟 (名古屋市)
横田 浩吉 (京都市)	吉益 雄太郎 (大垣市)	吉益 爲則 (京都市)

## 教室現職員

鳥潟 隆三 (教授)	磯部 喜右衛門 (教授)	伊藤 弘 (教授)
大澤 達 (助教授)	由茅 二五四 (助教授)	土屋 準一 (助教授)
濱西 正太郎 (講師)	青柳 安誠 (講師)	藤浪 修一 (講師)
浅野 芳登 (講師)	横山 哲雄 (講師)	坂田 信秋 (講師北野病院 院外科醫長)
盛 彌壽男 (講師大阪高 等醫專教授)	近藤 鋭矢 (講師北野病院 整形外科醫長)	有原 康次 (助手)
吉田 久士 (助手)	小津 茂 (助手)	奥村 吉文 (助手)
吉武 信 (助手)	村上 治郎 (助手)	

## 當日祝電ヲ寄セタル人 (祝電ハ一括シテ先生ニ差上ゲタ)

近森 正基 (大連市)	江藤 良三 (廣島市)	星野 貞次 (京大耳鼻咽 喉科教授)
小林 大乗 (東京市)	桑原 政榮 (前橋市)	松本 彰 (大連市)
村上 謙次郎 (高松市)	坂井 昭雄 (前橋市)	澤井 爲三 (福井市)
高木 四郎 (前橋市)		



# 謹告

猪子先生ハ喜壽ノ心祝トシテ 昭和十一年十二月十一日態々使ヲ遣サレ上掲ノ如ク本會ニ寄贈セラレタリ 仍テ則日午後磯部烏潟兩教授伊藤教授病氣不在ハ本會ヲ代表シテ 猪子先生御宅ニ參上シ 此ノ全ク意外ノ御寄贈ニ對シ親シク先生ニ御目ニ懸リ衷心感謝ノ辭ヲ述ベタリ

猶ホ右御寄贈金額ハ本會基金別口トシテ十二月十二日貯金ノ手續ヲ了シ 後日有意義ナル使途ニ充テンコトヲ期ス

會員諸君ノ御諒承ヲ乞フ

昭和十一年十二月十八日

猪子伊藤兩教授記念會